

8 特別企画

Special Events

(1) 特別企画

① 腰痛予防と福祉機器

老人ホームや障害者施設のスタッフにとって腰痛は職業病とも言える大きな課題です。HCR2010では腰痛予防対策として福祉機器を使った介護の実際についてデモンストレーションを交えながら紹介しました。

場 所： 東6ホール内「特設会場E」

内 容： a. 腰痛予防に関わる機器の展示

ア. ベッドと移乗

イ. トイレと移乗

ウ. その他

b. デモンストレーション

29日10:30～12:00、30日13:30～15:00、1日10:30～12:00

講 師： 市川 洵 氏 福祉技術研究所(株)代表取締役

古田 恒輔 氏 神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授、
日本リハビリテーション工学協会移乗機器SIG代表

② 福祉機器開発最前線

福祉機器は高齢者・障害者の自立や介護の支援に大きな役割を果たします。HCR2010では現在開発が進められている福祉機器と新発売された福祉機器についてデモンストレーションを交えながら紹介しました。

場 所： 東1ホール内「特設会場C」

内 容：

ア	車いすなど移動機器	○同伴者に自動併走するロボット車椅子： 埼玉大学ヒューマンロボットインタラクションセンター ○マジックカーペット： (株)コーヤシステムデザイン ○安全に配慮された電動車いす： 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
イ	宇宙技術と福祉機器	○着衣型トレーニング装置、宇宙船内用日常服(船内被服)、 宇宙日本食： 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
ウ	義肢装具	○疾走用膝継手、ステップ用膝継手 ～任意方向への移動が可能な膝継手～： (株)今仙技術研究所
エ	介護食品	○介護食品： 日本介護食品協議会
オ	その他	○ブレインマシン・インターフェイス型環境制御装置、 エアペン文字盤： 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 ○Dynamic Casting System「動的採型装置」： 神戸医療福祉専門学校三田校

③ 身近な機器の福祉的利用方法講座

～電子ブックや携帯電話など身近にあるテクノロジー(あるテク)を福祉機器に変える利用方法～

近年、携帯電話・スマートフォンやパソコンなど身近にある機器の技術革新は目覚しく、これまで専用の機器を必要とした多くの障害がある方のコミュニケーションが気軽に、そして安価にできるようになってきました。また、最近話題の電子ブックも使い方によっては大きな可能性を持っています。

ここでは電子ブックや携帯電話など身近な機器を使って生活を豊かにするヒントを紹介しました。

会 場：「東ホールガレリア特設会場D」

プログラム

日程	時間	テーマ
29日 (水)	11:00～12:00	携帯電話などの身近にあるテクノロジー(あるテク)で支える障害者雇用
	13:00～14:00	パソコンを障害のある人や高齢者が使いやすくする ～Windows7のアクセシビリティを中心に～
	15:00～16:00	福祉に活用できる一般製品ウォッチング ～障害のある人の生活を楽にする身近にある製品を紹介～

30日 (木)	11:00～12:00	福祉施設などで楽しめるパソコンソフトの活用法
	13:00～14:00	携帯電話で支える福祉・特別支援教育
	15:00～16:00	電子ブックは障害のある人の読書をどう変えるか?
1日 (金)	11:00～12:00	ATMや情報キオスクのアクセシビリティ
	13:00～14:00	携帯電話のアクセシビリティ
	15:00～16:00	身近にあるテクノロジー活用10のアイデア ～ちょっとメモする、ちょっと尋ねるなどできなかったことを可能にする「あるテク」～

講 師： 中邑 賢龍 氏 東京大学先端科学技術研究センター教授 他

(2) 特設会場

① 高齢者の生活支援用品コーナー

ペットボトルのキャップや缶のプルトップを簡単にあけるグッズや持ちやすい食器など、高齢者の生活を支える工夫がされたグッズや製品を集めて展示いたしました。また、展示された高齢者の生活を支える工夫された用具の解説ほか、シャンプーとリンスの違いやアルコール飲料を示す印がついた製品など文字の見えにくくなった方でも区別できる工夫について専門家が解説しました。

会 場：「東6ホール特設会場E」

a. 展示(常設)

ア. キッチン周りの用具

イ. ダイニング周りの用具

ウ. 居間周りの用具

エ. その他

b. 解説

(29日13:30～15:00、30日10:30～12:00、1日13:30～15:00)

協 力： 財団法人 共用品推進機構

② 「子ども広場」

H.C.R.2010では、親たちが子どもと一緒に福祉機器を捜して廻る労力を少しでも軽減させるため、「子ども広場」に子ども用の福祉機器を総合展示いたしました。あわせて子ども広場では、福祉機器の利用や療育についての相談コーナーや、保育士が常駐するひとやすみコーナーを設けました。

会 場：「東6ホール特設会場F」

a. 展示(常設)

親子が参加して試せる子ども向けの福祉機器の総合展示

・車いす

・バギー、歩行器

・いす、カーシート

・学習機器/コミュニケーション機器

・食器用具 食器/衣類 靴

b. 無料相談(3日間とも11:00～12:00、13:00～14:00、15:00～16:00)

相談内容：療育相談、福祉機器相談

c. ひとやすみコーナー

協 力： 横浜市総合リハビリテーションセンター

東京都社協保育士会

③ 「ふくしの相談コーナー」

会場内にふくしの相談コーナーでは、医師、技師、作業療法士などの専門家が来場者の福祉機器、リハビリ、自助具に関わる相談に無料で応じました。

会 場：「東6ホール6-16-06、6-16-07、6-17-04」

a. 内容

ア. 福祉機器相談

イ. リハビリ相談

ウ. 自助具相談

協 力： 日本作業療法士協会、日本リハビリテーション医学会、
大阪府肢体不自由者協会 大肢協ボランティアグループ自助具の部屋